

1. 幼稚園(すみれ台幼稚園)の教育目標

・ じょうぶな体	明るく、すこやかな心身を育む
・ やさしい心	友だちとの協調性を育む
・ がんばる力	意欲と豊かな想像性を育む
・ 興味をもつこと	いろいろなことに興味や関心をもつ子どもになる

2. 平成31年度(令和元年度)事業計画の重点目標

1 遊びを楽しみ、園児が主体的に活動できる環境作りをする
2 自分の思いや考えを持ち、それを表し、行動できるようになる
3 たくさんの関わりの中で、危険を知り、身の安全を守る

3. 評価項目の達成及び取り組みの状況

(A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、十分ではない C:取り組みが不十分)

	評価項目	結果	内容等	関係者評価
1	保育の計画性、重点目標	B	内容の繰り返しにならないように、計画を再考したが、子どもが主体的に活動できるが少なくなってしまうように感じる。行事内容については子どもが主体となって行えた。	B
2	保育の在り方、 幼児への対応	B	年齢、縦割り、個々の対応を大切にした。子どもの様子を全教職員共有することで、担任以外でも対応ができた。	A
3	保育者としての 資質や能力	B	経験をつんで見通しをもって保育をすることができた。子育てについての相談を受けることも増え、今後の課題として乳児についての知識の向上が必要である。	A
4	保護者への対応	A	今年度より保護者面談の機会を多く作り、保護者からの相談に対応できるよう時間の確保を行った。コミュニケーションをとり、子どもについての共有ができるようにした。	A
5	地域の自然や 社会とのかかわり	B	小学校、老人ホームを交流を行った。また農協では野菜の栽培収穫を体験させてもらった。交番や消防署に勤労感謝の訪問をした。	B
6	自己研修など	B	毎年研修等の参加をしているが自己啓発について深める必要がある。専門分野以外の研修の取り組みが今度の課題である	B

4. 重点課題等の総合的な評価結果

- ・ 縦割り保育を通して年長児の主体性が多くみられた
- ・ 室内の遊びの中では、危険なことの認識ができ、子ども同士で声を掛け合う姿がみられた

5. 今後取り組む課題等

計画について

- ・ 縦割り保育においても発達、主体性、意欲をバランスよく組み込んだ計画を立てる

研修、自己啓発について

- ・ 研修や研究を全職員で共有する

6. 学校評価委員からのコメント

- ・ 子どもが嫌がることなく、幼稚園に行きたがるのは、親として嬉しい
- ・ 幼稚園だけでなく、地域が一体となって、和田地区を盛り上げてほしい
- ・ 先生と直接話す時間があり、子どもについての相談がしやすくなった